

事務事業名	雲南市文化事業企画運営事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課スポーツ文化振興室
政策名	〈Ⅳ〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉	所属G	スポーツ文化振興G	課長名	藤原 典裕
施策名	〈31〉地域文化の振興	担当者名	永瀬 玉緒	電話番号	0854-40-1073
目的	対象 市民 意図 地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。			(内線)	2241
基本事業	〈091〉文化芸術の振興	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 文化振興事業		
目的	対象 市民 意図 文化芸術活動に親しむ。		0:1 5:0 0:1 項 目 中事業 中事業名 文化振興企画運営事業		
			2:5 3:0 0:4		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
① 市民 ② 市外の人	①市民が文化芸術活動にふれる機会の拡充を図る。 ②市外へも積極的にイベントの情報発信をすることで交流人口の拡大を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (H24 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	演劇・音楽・伝統芸能・文化展などの開催により、市民が優れた芸術文化に触れる機会を拡充し、文化振興、文化活動への理解関心を促進する。 また、地域の伝統文化や文化財保存活動と連携、発表の場づくりなど支援し、地域文化の保存継承を図る。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
①委託契約業務 ②四半期毎の業務経過報告確認(文化事業業務委託) ③四半期毎の委託料支払い(文化事業業務委託) ④委託料支払い(創作市民演劇業務委託)	平成24年度より、自主企画事業として指定管理料の中に含まれていた文化事業企画運営業務を指定管理と分離し、別途業務委託とした。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 実施事業	件	44	29	33	20
イ 入場・参加者数	人	18,406	25,574	16,097	10,000
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
委託料 12,000千円 (うち、雲南市文化事業業務委託 9,400千円 ／雲南市創作市民演劇業務委託 2,600千円)	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円	2,500	4,600	2,600
【財源内訳】 地域振興基金繰入金 3,600千円 政策選択基金繰入金 1,000千円		一般財源	千円	5,900	7,400	5,400
	事業費計	千円	8,400	5,500	12,000	8,000

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、各事業も感染症対策を行いながら通常どおり実施されるようになった。令和5年度は、木次線関連及び創作市民演劇関連の業務委託が臨時的にあったことにより、事業費が増大した。
② 事業実施するうえでの課題	(株)キラキラ雲南に事業委託し、33事業の文化事業を実施した。 事業参加者から高い評価を得ており、今後も様々な事業の展開が望まれるが、その有効性や費用対効果について検証を求める声も出ている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	アウトリーチ事業を充実させ、あらゆる市民が文化芸術に触れられる機会を得られるよう、事業内容の充実を目指す。 事業内容について精査を行い、問題点の是正を図る。